

わたしの夢 | <第58回> | 巖美小 |

担任の先生のような  
親身になって話しを聞く  
教師になりたい



## DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

### 伊藤純さん

いとう・まこと  
巖美小6年

僕は児童会長。下級生の手本になるように勉強や児童会活動がんばっています。好きな科目は算数。面積や体積を求める問題が得意です。問題が解けたときはとてもうれしいです。最近夢中になっているのは釣り。近くの小川でコイなどを釣っています。魚に気付かれないように川に近づくのが難しいです。あこがれている人は担任の先生。将来は、親身になって話しや相談を聞ける教師になりたいです。その夢をかなえるため、授業中、積極的に質問をしたり自分の意見を話したりして、苦手な科目をなくすように努力しています。

#### 編集後記

▼夏の高校野球の名勝負、延長18回まで戦った79年の星稜対筑島。当時、小学生だった私は部屋の電気をつけるのも忘れて見ていました。奇跡と呼ばれるプレーの連続に身震いしていました。夏の思い出の一つです。(伊東吉光)

▼天気にも月齢にも恵まれ、天の川の撮影に成功。フェイスブックでの評判も上々で、三千人以上の目に触れました。子供の頃に見た星空は、今も変わらず輝いていました。(高橋英義)

▼川崎あじさい公園まつりの取材。同公園は、広報に異動して最初に取材に訪れた場所です。地域の人たちが植えた見事なアジサイ。一年前にはなかった光景に感慨もひとしおです。(吉住優)

▼室根町矢越特産の「矢越カブ」。甘味が強く、煮込み料理に向いているそうです。一度は生産されなくなり、10年ほど前に復活したという幻のカブ。旬を迎える冬にぜひ食べてみたいですね。

(荻荘瑠子)

